

お礼のことば

今日は、とても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。私たちがふだん教室では学べないようなことをたくさん勉強できました。

東日本大震災の被災地では、「こころのケア」を大切にされていることを知りました。体の治療だけではなく、被災された方々のこころも大切にされていることに感動し、とても印象に残っています。インターネット等では調べるのできない生の声を聞くことができ、とても勉強になりました。

私はテレビで石巻赤十字病院の特集を見て、日本赤十字社の活動に興味を持ちました。被災地での日本赤十字社の活動を知る前に、私にもできることはないかと思い、先日、献血に行って参りました。最初は少し不安だったのですが、職員の方々がとても親切で、緊張がほぐれ、とてもリラックスして献血することができました。私が行ったことはとても小さなことだと思いますが、自分の血液が患者さんのために使われたり、研究に役立てられたりすることを考えると、とても幸せな気持ちになりました。これからもずっと続けていこうと思います。

私たちは今日学んだことをしっかり持ち帰って、進路決定等に生かしていきたいと思います。今日は本当に貴重な勉強をさせていただきました。本当にありがとうございました。

2011(平成23)年11月9日

滋賀県立水口東高校2年 船田圭輔

船田圭輔様・滋賀県立水口東高校 2 年生の皆様

日本赤十字社（赤十字情報プラザ）で皆さんの見学のご案内をした横山と申します。11 月 9 日には、皆さんに熱心にご見学いただき、ありがとうございました。

見学の最後に、船田さんからいただいたお礼の言葉が、今も私の心に残っています。というのも、中・高生の皆さんから受ける質問でもっとも多いもののひとつが「私たちにできることは何でしょうか？」という質問だからです。

船田さんは、今回の見学の前に実際に自分から献血をしてみて、そこでその行為が人の役にたつことを実感し、これからもずっと続けていきたいと話してくださいました。

世界の赤十字が 2009 年から 2013 年まで行っている「赤十字 150 年」キャンペーンのキャッチフレーズは、「Our World, Your Move」です。これは、「私たちの世界、（それをよくするのは）あなたの行動」という意味です。まさにそのことを船田さんが実行してくださったこと、そしてこれからも続けていきたいとお話しくださったことに感銘を受けたのです。

東日本大震災の復興はまだまだ続きます。また、海外に目を向けると、今もなお厳しい状況の中で生活を送っている人たちがたくさんいます。今回の見学が、みなさんにとって将来の進路やこれからの社会への関わり方を考えていくうえで、すこしでも役にたつことがあれば、望外の喜びです。

これから寒さが一段と厳しさを増しますが、かぜなどに負けず、よりいっそう充実した学校生活を送られることをお祈りいたします。

2011 (平成 23) 年 12 月

日本赤十字社企画広報室（赤十字情報プラザ）

横山瑞史